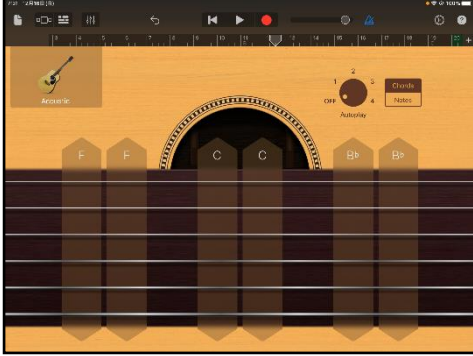






# 【教材・教具】音楽



教科・領域	音楽	
名称	iPad エレキギター	
写真 使用方法		
	<p>図 1) GarageBand の画面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● iPad アプリ『GarageBand』を使用。曲を予め教員が作っておき、生徒用 iPad に AirDrop で送信。曲に使用するコード（今回は、F, C, Bb）のみ音が出るように設定・表示させておく。コード以外の場所に触れても反応しないよう、アクセスガイドで誤作動防止の設定をしておく。</li> <li>● iPad 本体のスピーカーでは音が小さいため、Bluetooth スピーカーを接続し自分の演奏が合奏時に確実に聞こえるようにする。</li> <li>● 全体の合奏練習に入るまでに、個人練習として、曲に合わせて（GarageBand の演奏機能を活用）タイミングよく適宜コードをタップできるようにしておく。</li> </ul>	<p>図 2) アクセスガイドの設定画面</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ（小学部 3 段階～中学部 1 段階の生徒）	
素材・作り方等	ギター本体： 段ボール等で形作り、塗装・装飾。iPad はカバーを外した状態でギターの中に入れる（入れる向きあり）。	
使ってみて (効果・反省等)	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TV や動画等で見聞きし、憧れのある楽器（エレキギター等）を担当できたことが生徒のモチベーション向上に繋がり、主体的に授業に参加する姿勢がみられた。また、コード数（今回は 3 コード）は生徒の発達段階に応じて、増減できるため、汎用性が高いと考える。</li> <li>● GarageBand の操作方法を覚えれば、一人で音源に合わせて練習でき、自学自習が可能。</li> </ul> <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 演奏時、iPad の画面が見づらく、タップする位置をある程度覚えられるまで練習する必要がある。</li> </ul>	
保管場所 又は所有者	ギター本体：本校 中学部 iPad： GIGA スクール構想一人一台端末	



# 【教材・教具】音楽




教科・領域	音楽
名称	iPad を使ったピアノ
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ (小学部 3 段階～中学部 1 段階の生徒)
素材・作り方等	ギター本体： 段ボール等で形作り、塗装・装飾。iPad はカバーを外した状態でギターの中に入れる (入れる向きあり)。
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練習では曲の途中で脇見していたが、本番は、ピアノの屋根 (透明) 越しに客席がよく見え緊張感が増し、演奏の終わりまで鍵盤に視線を集中できた。本生徒の好きなキャラクターの絵を、指で追って iPad でコード演奏ができた。</li> <li>● 磁石で開閉と固定を楽にしたことで、ピアノの天板を開け、突上棒で支え、屋根を折り返す操作を生徒ひとりでもできた。脚部を補強しピアノの揺れを抑えたことで、安心して鍵盤に腕をのせることができ、一人で立ち上がって挨拶をするところまでの実演ができた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	ギター本体： 本校 中学部 iPad： GIGA スクール構想一人一台端末



## 【教材・教具】音楽


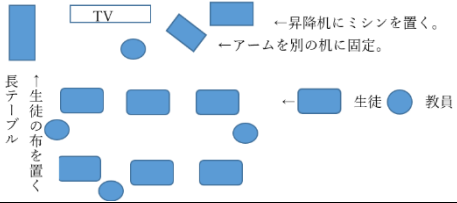


教科・領域	家庭
名称	授業内での iPad の活用
写真 使用方法	 <p>1学期に漬けた梅干しの夏休み中の変化の記録・振り返り。 夏休み前の作業を振り返り、2学期の授業につなげる。模造紙での手順表も生徒と一緒に作成し、併せて使用することで振り返りやすくした。 また、振り返りの際は、「どんな匂いがした?」「色はどう変わった?」「手にも色がついたね」など生徒が実習中気づいたことを言葉で問いかけることでより鮮明に思い出せるよう工夫した。 夏休み中の変化は、スライドと合わせて、言葉でも「色が濃くなってきましたね」「紫蘇の匂いがしました。」などと伝えるようにした。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ
素材・作り方等	<p>Keynote。夏休み中の定期的な観察は難しいため、生徒がつけた梅干しを1週間に2回ほど写真を撮り、スライドを作成する。 塩漬けの時は背景に紺色の画用紙を敷き、塩の溶け具合が分かりやすいように工夫した。紫蘇を入れた後は赤く色づくため、白い画用紙を敷き、梅が赤く染まる様子が分かりやすくした。また、光の加減や温度差でビニールが曇ると中の梅の様子が伝わりにくいため、曇りを取ってから写真を撮るなど配慮した。2袋梅干しを漬けたので比較しやすいように、ページのレイアウトを統一し、同じ位置に写真を貼り付けた。 7月末の梅の写真と、現在の梅を比較しやすくした。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>Keynote のスライドは見てほしい部分を拡大しやすく、大きなスクリーンに映すことで、授業に参加している全員で同時に観察できた。意見を出しながら、画像で確認したり、過去の様子をすぐに提示できたりして便利であった。夏休みという長い休暇を挟んだが、梅干しの変化を観察することができた。Key note には生徒の作業の様子の写真は載せず、梅干しだけのシンプルな写真にすることでより梅干しの観察に集中できたと思う。 手書きの模造紙の手順表には、生徒の作業の様子を入れることで、より作業内容や様子をより鮮明に思いだしている様子であった。</p>
保管場所 又は所有者	本校 中学部



## 【教材・教具】家庭

# ICT

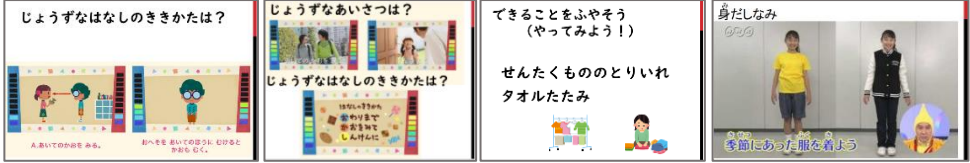
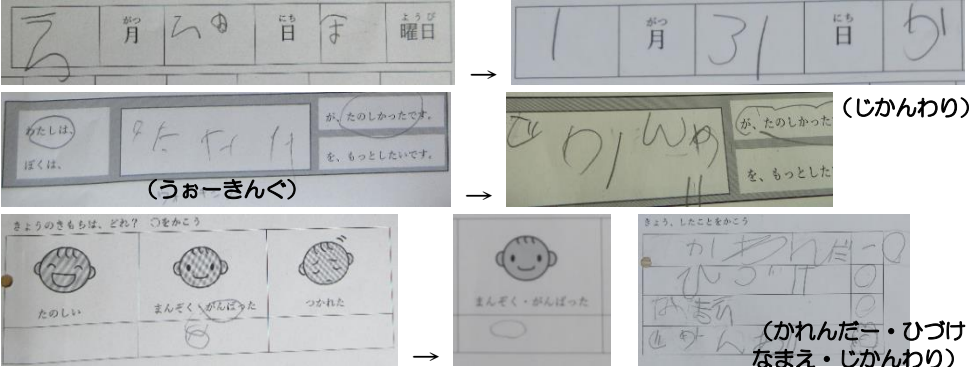
教科・領域	家庭
名称	授業内での iPad の活用
写真 使用方法	 <p>iPad のカメラモードとタブレットを固定するアームを使い、教員の見本をスクリーンに映し、全員で手順を確認する。特にミシンは細部の説明をする際手元を映しボタンの位置などを確認するために使用。</p> <p>また、教員の人数や専門性の問題で、待っている生徒が多くなるため、生徒が作業をしている時他の生徒は作業の様子を確認しながら、順番を待つ。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ
素材・作り方等	
使ってみて (効果・反省等)	<p>生徒に見てほしい部分を拡大し、大きなスクリーンに映すことで、授業に参加している全員で同時に確認できた。また、生徒はモニターから見られると意識することで、作業へのモチベーションを維持できている面もあった。iPad やモニターを使うことで生徒の注意をひきやすく、集中できる時間も長かった。</p> <p>また、生徒の手元には何も置かず、長テーブルに製作中の作品を置く、CR7・CR8をつなげ広く使う、席の並び順も TT と相談する、担当する生徒を固定する等工夫することで、教室がすっきりとし、落ち着いて活動できた。家庭科は2校時続けての授業であるが、生徒の集中できる時間を考慮して、ミシンの活動が長くならないよう、ほかの学習活動と組み合わせる等工夫して取組んだ。</p> <p>休み時間には教材を置いてあるエリアには来ないようにすることができ、安全にも配慮できた。</p> <p>1回目はミシンを置く机にアームを固定していたが、別の机につけたほうが、映したいところに調節しやすく、机の高さの変更、ミシンの移動でアームからタブレットが取れることもなかった。慣れるまでは、カメラの位置からずれた場所で見本を提示したりしたが、慣れるとそういったことも減った。</p>
保管場所 又は所有者	本校 中学部





# 【教材・教具】道徳



教科・領域	
名称	
写真 使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進路見学、進路講話、校内実習の心構えと、将来を見据えて普段からしておくことについて、電子黒板に映して学習</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日誌の書き方：日付けと行ったこと、感想を日誌に記入</li> </ul> 
対象児童生徒 学年・グループ	<p>中学部 1～3 年、FG グループ</p>
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NHK for school の動画を活用して、Microsoft Powerpoint で作成。</li> <li>● 日誌：高等部の実習日誌を参考にして、Microsoft Word で作成。課題学習の時間等で使用し、日常生活での活動を題材として振り返りを行った。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生としての学校生活の心構えを、キャリア教育という意識で確認させることができた。「将来を見据えて今つけておくべき力は何か」という観点で、教員間でも共通理解を図ることができた。</li> <li>● 校内実習の見学や、進路見学でも、「何を学ぶか」「どういうことに気をつけるか」ということを考えながら、見学することができた。生徒の感想からも、焦点を絞って見るべきことをしっかりと見て、内容が理解できているということが、感じられた。</li> <li>● 日づけの確認、日誌の書き方、時間の意識、がわかるようになってきて、日常生活でも日づけや時計への関心、話の聞き方やすべきことを先にするという姿勢などで学習効果がみられる。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	<p>本校 中学部</p>



## 【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	電動移動遊具「DonDonIkoo」の活用
写真 使用方法	 <p>少しの力で操作を可能にするために段ボールで作成し、オリジナルのジョイスティックの上から被せて使用する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 DE グループ
素材・作り方等	素材： 段ボール、柔らかいボール
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"><li>● Dondonikoo 本体のレバーよりも大きく、操作がしやすくなっていた。</li><li>● 前だけでなく、左右にも動かすことができていた。</li><li>● 手の当たる部分、持つ部分を滑りにくい素材にすることでさらに操作しやすくなるのではないかな。</li></ul>
保管場所 又は所有者	Dondonikoo： 本校 自立活動部 レバー： 本校 中学部